

サボ通

サボ通は、認定NPO法人さばえNPOサポートが自主発行している機関紙です

さばえNPOサポート通信

Vol.37 & 38 合併号

発行日 ■ 2021年03月31日

発行 ■ 認定NPO法人

さばえNPOサポート

編集 ■ 広報委員会



「効率化」が 殺すもの

■はじめに

少々物騒なタイトルでスミマセン。

新型コロナの影響もあって、普段ならそんなに考えないようなことまで考える時間を過ごした皆さんも多いのではないでしょうか。

実は、自分もそんな1人です。

今号では、ここ数年、折に触れて(なんとなく)感じていた「市民活動での『効率化』」というお題を深めてみようと思います。

■もちろん大切な「効率化」

仕事の現場での「効率」や「効率化」は、そのプロセスにおいても実績の上でも、「とても大切な視点だ」ということを否定する人は少ないと思います。

私たちが使える資源には、金銭的にもマンパワー的にも、もちろん時間や空間的にも限界があり、その中で無駄をなくして事に当たることは、まあ常識と言っていいでしょう。

特に、チームを組んで進めるプロジェクトでは、個々のペースの調整が結果に大きく影響することも珍しくありません。

「アイツは仕事が遅い」とか「サボってばっかり」という評価がメンバーの人間関係を悪くすることもあり、責任者やマネージャーの中には、全員の「効率化」を図ることが、お互いのネガティブな評価をなくし、チームの一体感を育てると考える人もいると思います。

とは言え、短距離走が得意な人もいれば、マラソンで真価を發揮する人もいる。

猪突猛進＆速効で道を切り開く人もいれば、他の人も安全に通れる道を丁寧に舗装する人だっています。

つまり、人それぞれに、それぞれの「効率化」があるということかもしれません。

その視点を持たずに、ただ「効率化」を重んじる人には注意が必要です。

特に、ボランティアの皆さんも関わる
市民活動の分野ではなおさらでしょう。

[次ページへ→](#)

■「効率化」が生み出すもの

ここでひとつ、「効率化」を進めることによる恩恵や影響をイメージするため、それらを表す単語をいくつか考えてみましょう。

たとえばですが、以下の様なものが思い浮かびました。

「効率化」が生み出すもの?

数値目標 単純化
(作業の)生産性向上
機械化・システム化
同じ価値観(モノサシ)の共有
損得 競争原理
見える化 均一化
ランキング(順位づけ)
など

ただし、ここに並んだ単語の前提となる「効率化」とは、前のページで触れた“人それぞれで変化する「効率化”ではなく、シンプルに数字で判断できるような、“単一の「モノサシ」を使う「効率化」”を指しています。

その理由は、「効率化」を課題とする企業でも行政でも、プロジェクトの評価には客観的な“数字”を「指標」(=モノサシ)として使うことが多いからです。

よく聞く「費用対効果」もそうですが、「売り上げ」や「参加人数」と言った数字は、“嘘をつかない”エビデンスとして、報告書や統計でも大活躍していますし、その根拠がなくては、事業の計画すら成り立たないのも事実でしょう。

ただ、この「効率化」には、自分も含めて陥りがちな罠が潜んでいるようにも思います。

■数値至上主義

「効率化」と「数値」の相性はバツグンです。

それは効率の良し悪しを判断する指標(モノサシ)に「数値」を使うことが多いためですが、そこで陥りやすいのが「数値至上主義」のような考え方。極端に言えば「指標になる数字さえ良ければOK!」という発想です。

「効率化」を検証するために、プロジェクトで記録された「数値」を使うのは一般的な方法ですが、それは様々な要素で成り立っているプロジェクト全体をその「数値」だけに単純化する側面があります。

「数値至上主義」を進めすぎると、本来の事業目的より

「数値」を優先する、本末転倒の姿を作りかねません。

いくつかの「数値」をバランス良くピックすることで、全体として偏った指標での評価を避けることができますが、とにかく「数値」は評価の手段であって、決して目的ではないことの確認は大切です。

また「満足度」や「達成感」と言った心理的な評価は、アンケート結果の数値化や、「いいね」「リツイート」などの数として分析されることがあります。

ただ、設問による“誘導”的余地や、そもそも「回答・発信しない人」を「数値」に取り込めない場合などもあり、これも偏重しすぎないように注意が必要でしょう。

■価値観の「均一化」とランキング

みんなで「効率化」を目指すということは、指標に使う価値観を「均一化」(=同じにする)ということです。

そして、価値観をみんなで共有することで発生するのが、優劣の見える化であり、「ランキング(順位づけ)」です。

営利事業や、スポーツ、ゲーム、学力などの世界では、この「ランキング」はほぼ絶対的な価値観となります。

当たり前ですが、この分野では、伝統的に「数値」(たとえば純利益や順位や点数)が最強の基準なので、それが正しいかどうかは別にして、矛盾はないわけです。

では一方、“非営利”な目的のために活動するNPOやボランティア、市民活動の世界においての「効率化」「均一化」「ランキング」には、どんな価値と意味があるのでしょうか。

■「効率化」と「多様性」のカンケイ

冒頭に書いたように、非営利の分野においても「効率」や「効率化」の考え方には意味があります。(もちろん全てとは言いませんが。)

特に“チーム”でのプロジェクトでは、いくら“自発的な有志”の集まりだったとしても、それなりのスピード感や目的的達成の指標は必要なものです。

行政や企業、他の市民活動団体とタッグを組む“協働事業”においては、プロジェクトの結果を共有するためにも、お互いが納得する共通の「モノサシ」が不可欠になるはずです。

その場合、関係者の間で「何を評価の対象とするか」の具体的な中身を、事前に十分確認しておくことが大切になります。

ここを曖昧にしておくと、お互いの思い込みのズレがこじれて、不信感につながることも起きかねません。

ただし、非営利のセクター(個人や組織)が参加するプロジェクトにおいては、「効率化」よりも大切なものがあると思っています。

たとえば「モチベーション」(やる気・動機づけ)です。

市民活動に関わるほとんどの人は、ひとりひとりの理由

や目的があって参加しています。

それが「モチベーション」なわけですが、自分が納得できない「モノサシ」を押しつけられると、ゼロどころかマイナスになってしまうのも「モチベーション」です。

たとえば、**損得を度外視**して活動する相手に「これは利益になるから」と事業に誘ったとしましょう。

「ああ、自分はそんな理由で動くと思われているんだ。」そう思うだけで、その人は去ってしまいます。

これは、わかりやすい**価値観(指標)**の押しつけです。

同じように、ランキングでの順位を重視していない相手に「あの人(組織)に負けちゃダメだ!」とハッパをかけたり、事業の**完成度の高さ**を目指している人に「とにかく形にさえなればイイから。」なんて言葉をかけるのも、市民活動的な現場では“**暴挙**”でしかありません。

こんなことになる原因は、その発言をしてしまう人が、人を見る目がない(相手の動機を誤解している)か、もしくは「均一化」した「モノサシ」しか持ち合わせてないからでしょう。(もうひとつあるとすれば、よほどの“上から目線”的な持ち主という可能性も?…笑)

いずれにせよ、“非営利”的セクターで「効率化」を考える時、その「指標」には「均一化」よりも「多様性」を認めることが大切です。

それは、市民を主体とした社会が、「**多様性**」と**お互いへの寛容**によって成り立っているからに他なりません。

ただそうなると、「効率化」のもたらす**生産性の向上**や、**システム化**、**競争原理**といった“恩恵”がパワーを失ってしまいます。

それは仕方がないことなのでしょうか?

■「効率化」が殺すもの

ここで、さっきとは逆に、“**单一の「モノサシ」**を使う「**効率化**」で、失われてしまいそうなものを探してみましょう。

「効率化」が殺すもの?

余裕・ムダ あそび
アナログ化・カオス化
発明・創造性
経済(数値)以外の価値
寛容 個性
基礎研究 多様性
横のつながり など

あくまで個人のイメージなのはお許しいただくとして、全体的に「**今すぐ役に立たないもの**」「**数値化しづらいもの**」「**計画を立てづらいもの**」的傾向が見て取れます。

特に創造的(クリエイティブ)なアイデアなどは、単に「効率性」を追い求めていたのでは生まれてこないのかもしれません。

「必要は発明の母」なんて格言はありますが、**まだ必要だと思っていない“新しい発想”**は、そこからは生まれません。

最近の脳科学では、「ぼーっとしている時間」に、脳の多くの領域で構成される「デフォルトモードネットワーク」と呼ばれるシステムが活発に動いていることが分かっていて、その重要性の研究も進んでいます。

パソコンで言えば、「ぼーっと」との間に、“**バックグラウンド**”で、活動の基礎となるネットワークの整理や再構築をしているカンジでしょうか?

多くのクリエーターが、意識を何かに集中している時より、「ぼーっと」としている時に閃きがあると発言していることも関係があるのかもしれません。

そして、「効率化」「数値化」による「ランキング」のマイナス面も意識しておく必要があるでしょう。

単純な基準での順位づけは、**上下関係を基盤とする階級**的なつながりを、たやすく作り上げます。

企業内とは違い、**地域社会**でのそれは、差別や孤立、分断を加速させるリスクがあります。

かなり誇張して想像するなら、その行き着く先は、「**指標**」となる限定期的な価値観で管理された社会。

少数の支配者層と思考停止した住民、そして“生きづらさ”を押し殺しながら生活する人々の、かなりいびつな“共同体”になってしまうのではないかでしょうか。

■「効率化」の柔軟性

なんだか、現実離れした「ディストピア小説」みたいな展開になっちゃいましたが、最初から書いているように、市民活動やボランティア活動での「効率化」は悪だ!…と言いたいわけではありません。

いろんな作業での「効率」は大切ですし、一般参加者がいる事業で、スタッフがマイペースで運営して迷惑をかけるようなことも、もちろんあってはいけません。

ただ、もし多少「効率」が下がったとしても、そこで楽しくおしゃべりすること自体に意味があったり、一般参加者の皆さんのが「へえ~。遅いペースでやることで初めて気づいた☆」なんて発見や学びがある時には、恐れずに「効率化」の優先順位を下げてもイイんじゃないの?

…そんなお話なのです。

最先端のIT企業などで、仕事の「**効率化**」のために「マインドフルネス(瞑想)」を取り入れている例があります。

いわば、“一見ムダ”と思える仕組みを採用することで、より高い視点での「効率化」を実践しているのでしょう。

使う人の見識や理解によって、「効率化」という言葉 자체も、より奥深く、柔軟な可能性を見せてくれるのかもしれませんね。

次ページへ→

→前ページから

■人生は「非効率」でできている

「生まれてこのかた、“無駄なこと”をしたことがない。」…そんなことを断言できる人はいないはずです。

人生での「寄り道」「迷子」「遠回り」を、どれも経験していない人がいるとすれば、それは生まれたばかりの赤ちゃんくらいでしょう。

人類は、長い時間をかけて「非効率」を“改善”するために、様々な工夫や発明を成し遂げてきました。

機械やAI(人工知能)に人の代わりをさせることも、その延長線上に実現したことです。その能力は、多くの部分で、既に人間を上回っています。

逆に言えば、本当に「効率化」を突き詰めたいなら、おそらく人間が関わらない方が良い時代になってきたということかもしれません。

だったら、人間は何も考えずに、機械とAIに頼れるだけ頼って、人生の“楽しみ”を享受するために生きれば良いってことでしょうか?

事実、それが未来の“理想の世界だ”と主張する人もいます。

逆説的ですが、それは「人が『効率化』を完成させた」からと言うよりも、「『効率化』と縁を切った」ことで実現する世界に見えます。

念のために書き添えれば、疑り深い自分としては、それが“理想の世界”だと到底思えないのですが…笑

■「効率化」は“しあわせ”的に

少し前で、「数値」を目的化する本末転倒の問題に触れました。

同じように、人は「効率化」のために生きているわけではありません。

「効率化」は、あくまで“しあわせ”的な方法だと言う点を、ぜひ忘れないでおきたいものです。

…え?…「そんなことを言うヤツに限って、ホントは自分が努力したくないだけだろう!」って?

なるほど。そう思っちゃう人がいるのも分かります。

でも、それは「効率化」の話じゃなく、「信頼関係」の問題じゃありませんか?

実は「モチベーション」の他に、「効率化」より大切にしておきたいと思うもののひとつが、この「信頼関係」だと考えています。

かなり“無茶”な「効率化」の要求をされたとしても、その人や組織とのシッカリした「信頼関係」があれば、受け入れる方も「頑張ってみるか!」という気持ちになるものです。

特に“非営利”活動においては、その自発的な「やる気」が、通常では手が届かないような「効率化」につながることがありますよね?

市民活動やボランティア活動で、本当の「効率化」を望んでいるあなた。

どう「効率化」するかを悩む前に、今の「信頼関係」を見直す方が、もしかするとずっと近道なのかもしれませんよ?

<おしまい>



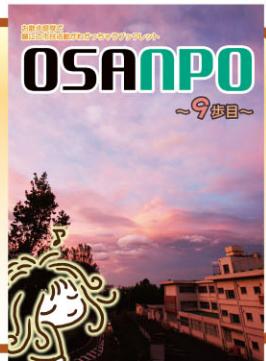
鯖江の市民活動情報ブックレット

OSA NPO ~9歩目~

発刊!!

- A4版・20頁・総天然色
- ご希望の方は「さばえNPOセンター」まで(無料)
- PDF版も公式サイトで公開中!!

【記事内容】コロナ禍での市民活動についていろいろお聞きしました! / コラム/ランドスケープ大作戦カードゲーム/サバヌシ総会2021



ぼーっと…



以上「ぼーっとに没頭」の巻でした~

広報サポート募集中!!

★簡単なお手伝いでもOK。個性的な仲間が揃っています☆ 詳しくは、さばえNPOサポート事務局・松田まで。

編集・お問い合わせ

認定NPO法人 さばえNPOサポート

〒916-0024 福井県鯖江市長泉寺町1丁目-9-20 鯖江市民活動交流センター内

TEL:0778-54-7055 FAX:0778-54-7058

【メール】 info@sabae-npo.org

【ホームページ】 http://www.sabae-npo.org